

税金の使い道知って！

江戸川区立小岩第一中学校 1年 稲垣 心寧

お買い物をすると、消費税というものが必ず取られる。何で商品を買っただけなのに、商品とは関係がないお金が取られるの？と心の中でずっとモヤモヤしていた。そんな小学校三年生の時に、税金の大切さについて会うことになる。

それは、学校で配られた「税に関する絵はがきコンクール」という一枚の紙だった。そのコンクールに応募しようと思った理由は、参加賞が図書カード五百円分だったからだ。なぜなら、私は本が好きだから。そんな安易な応募理由だったけれど、テーマが税に関する絵だから、まずは税金について調べないと絵が描けない。だから、私は税金について、インターネットを使って色々と調べてみることにした。私自身税金は、国の運営に使うお金だと思っていた。しかし、その予想とは全く違った。税金は警察署、消防署、市役所、病院などや介護や年金などの色々な場面で、公共施設や公共サービスを提供するために使われていることを知った。税金は、みんなが安全で快適に過ごせるために、必要不可欠なものであることが分かった。さらに、税金には色々な種類があった。消費税、所得税、住民税、法人税、たばこ税、酒税等の多種多様な税が存在していることも分かった。

それから今、税金で賄われている社会保障が問題となっている。最近、少子・高齢化により、お年寄りが増えてきていて、二千五十年には六十五歳以上が三千八百四十一万人になると推測されている。二千年と比べて、千六百三十七万人も高齢者が増えることになる。これは、将来自分が年をとった時にどうなっていくのだろうか、今から心配だ。高齢者が増えると、税金が使われている医療や年金、介護などのお金が増えていく。だから、今のままでの税の仕組みでは、今後税金の役割が果たせない。なので、いつかは消費税をおよそ十パーセントから引き上げることが必要だと思う。しかし、引き上げたら国民から税金が高いと不満が出るだろう。でも、税金を上げざるをえないと思う。いったい税金の使い道を知っている人は、どれくらいいるのだろうか。だから、私はまず、国民全体が税金の使い道を知っておくことが、大切だと思う。そのためには、小さい頃から、税金について子供達に知ってもらう必要がある。毎年、小学校や中学校で特別授業として、税金について知ろうという授業をする。その授業を受けた子供たちが、自分たちの親に税金について話す。そうしたら、子供を持っている大人に知ってもらうことができる。このことから、税金についての理解を広めることができるのではないだろうか。

みんなに税金について知ってもらい、より良い社会になっていくことを願う。